
令和 2 年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和 2 年 3 月 4 日

質問者（質問順）

- 1 源 波 正 保 委 員 (公 明 党)
- 2 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)
- 3 高 橋 のりみ 委 員 (自 民 党)
- 4 黒 川 勝 委 員 (自 民 党)
- 5 長谷川 えつこ 委 員 (立 国 フ)

局 別 審 査

1 源 波 正 保 委 員 (公 明 党)

1 令和2年度都市整備局予算案について

(1) 令和2年度の予算編成にあたり、どのような考え方で取り組まれたのか。

(意見) 横浜を取りまく社会情勢が急速に変化していく中、横浜が力強く成長していくためには、まちづくりをしっかりと進めることがより重要である。

2 泉ゆめが丘地区土地区画整理事業について

(1) 現在の進捗状況について伺いたい。

(2) センター地区の土地活用に向けた取組について伺いたい。

(3) 新たなまちの完成に向けた、当地区のまちづくりに対する意気込みについて伺いたい。

(要望) 単に公共施設等を整備し、企業を誘致するだけでなく、きちんと将来を見据えた、ソフト面でのまちづくりもとても重要と考えるため、継続的な支援をお願いしたい。

(要望) 泉ゆめが丘地区のまちづくり事例は先進的な取組のため、上瀬谷をはじめとする今後のまちづくり、特に市街化調整区域を戦略的に整備する取組に対し、当地区での経験やノウハウをしっかりと生かすことを要望する。

3 旧上瀬谷通信施設地区の事業化について

(1) 構造改革特区を活用する狙いについて伺いたい。

(2) 観光・賑わいゾーンを大規模にした狙いについて伺いたい。

(要望) 横浜の持続的な成長・発展という視点から、多くの交流人口が見込める観光・賑わいゾーンを中心に、旧上瀬谷通信施設が本市の成長エンジンとなるようなまちづくりを進めていただきたい。

(3) 旧上瀬谷通信施設の事業を進めていく決意について伺いたい。

(意見) 郊外部の更なる発展のためには、交通基盤整備とまちづくりを連動させて取り組むことが大変重要である。行政、市民、企業等が一体となり、地域の

実情に応じた個性あるまちづくりを進め、誰もが住みたい、住み続けたいと思うようなまちづくりを進めていただくことを期待する。

4 高速鉄道3号線の延伸について

(1) 川崎市と概略ルート・駅位置をどのように決定したのか。

(2) 地下鉄延伸と路線バス等の地域交通との連携を図ることが重要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 令和12年を目標とする開業に向け、着実に進めていただきたい。また、本牧、根岸方面への延伸となる横浜環状鉄道の実現に向けても、積極的に検討を進めていただきたい。

5 I R推進事業について

(1) I Rに整備するM I C E施設の、本市の考え方について伺いたい。

(2) 展示場は、パシフィコ横浜を入れると10万㎡を超えるという期待もあり、東京や幕張との都市間競争でも十分優位に立てると考えるが、見解を伺いたい。

(3) 魅力増進施設に対し、本市として望むことを伺いたい。

(4) I R事業を推進するうえで、事業者や関係団体を含む総括的な組織が必要と考えるが、見解を伺いたい。

(5) 事業者の経営状態が厳しくなった時のリスクマネジメントの考え方について伺いたい。

(要望) 横浜の持続的な成長と更なる飛躍、そして市民の豊かな暮らしを将来にわたって支えるための施策の一つとして、あらゆるリスクを想定し、しっかりとマネジメントしながら、横浜I Rの実現に向けた取組を進めてほしい。

6 まちの不燃化推進事業について

(1) まちの不燃化推進事業の進捗状況について伺いたい。

(2) まちの不燃化推進事業の課題について伺いたい。

(3) 減災目標達成に向けた今後の取組について伺いたい。

(要望) 被害半減の目標に留まることなく、さらにその先を見据え、災害に強いまちの実現に向けて取り組んでいただきたい。

7 桜木町駅前交通広場再整備事業について

- (1) 桜木町駅前交通広場の再整備に向けた現在の取組状況を伺いたい。
- (2) 都心臨海部の玄関口に相応しい計画とするため、どのような点を考慮しているのか。
- (3) 施工計画をしっかりと立て、スピード感をもって再整備事業を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

8 JR桜木町駅新改札口設置について

- (1) 現在のJR桜木町駅の利用状況と今後の見通しについて伺いたい。
 - (2) 現在の工事の状況について伺いたい。
 - (3) 新改札口前面を整備する上で配慮した点について伺いたい。
 - (4) 新改札口設置による整備効果と事業費負担の考え方について伺いたい。
 - (5) 鉄道駅の改良に対する取組の考え方について伺いたい。
- (意見) 地域の拠点となる鉄道駅の改良は、まちづくりにとって重要な事業であるため、地区ごとの特性を生かしながら、鉄道事業者と力を合わせて取り組んでいただくことを期待する。

9 関内駅周辺地区のまちづくりについて

- (1) 現市庁舎街区の開発計画が持つ横浜らしさについて伺いたい。
 - (2) 港町民間街区のこれまでの経緯と今後のスケジュールについて伺いたい。
 - (3) 関内駅周辺地区で、新しいコンセプトのまちをつくっていくことへの意気込みを伺いたい。
- (意見) 関内・関外地区の将来の発展を見据え、まちづくりに果敢に取り組んでいくことを期待する。

2 古谷靖彦委員（共産党）

1 IRカジノ誘致について

- (1) IRカジノに反対する人は横浜市民ではないかのような扱いだか、このようなことでいいのか。
- (2) 「横浜IRの方向性」(素案)を発行する目的、部数及び配架場所について伺いたい。
- (3) 「横浜IRの方向性」(素案)の発行部数は少なすぎる。配架場所は増やしてもらいたいが、見解を伺いたい。
- (4) 一度も民意を問うていないまま、IR推進予算を通すのは、正当性が問われるのではないか。
- (5) 政策を進める根拠を示して議論し、合意形成をするべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 港運協会が立ち退かない場合、国への区域整備計画の申請はできるのか。
- (7) 港運協会が立ち退かない場合、制度上、行政代執行はできるのか、検討の余地はあるのか。
- (8) EYとIR事業者の監査契約が利益相反にならないと答弁されているが、EYグループが互いの業務を情報共有しないことをどのように確認したのか、なぜそれで公平性が維持できているといえるのか。
- (9) EYの担当者にも特定のIR事業者との関係性がないように透明化をはかるよう求めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (10) 「公募・選定にあたっての廉潔性調査」に、EYはどう関わるのか。
- (11) そもそもなぜ廉潔性調査を行うのか。
- (12) EYにも廉潔性調査を行うべきではないか。
- (13) 職員規律の問題について、ルールが適切に運用できているのかは誰がチェックするのか。
- (14) 内部チェックで公正性を担保できるのか。
- (15) 職員規律の問題について、情報開示して透明性を確保することで、職員を守るべきと考えるが、見解を伺いたい。

- (16) 市が定める事業者との接触ルールに基づき、面談において作成する書類などは、第三者が確認できるか。
- (17) 市長答弁で「これまでの（事業者との）接触で不正につながるケースはありません」とあったが、誰が確認したのか。内部チェックでは不十分ではないか。
- (18) 新聞記事の「ホテルに入るロビーはカジノを通った先にある」との記述に対して、副市長が強く否定していた理由を伺いたい。
- (19) 新聞記事の「街に還元なんてありえない」との記述に対して、「地元が潤っていただくような提案を求める」と副市長は反論していたが、I R事業者の収益の上げ方にまで横浜市が口を挟めるのか。
- (20) 近隣の既存のホテルや、元町商店街なども含めた既存の商店街、中華街などを、広くI R施設と位置付けて、カジノ売上の一部を用いながら誘導やインセンティブを図ることを考えているか。
- (21) I Rの仕組みは、カジノの売り上げによってI R全体を維持していくものなので、I R事業者は売り上げがよそに流れるようなことを考えないと思うが、副市長は具体的な提案をする考えがあるのか。
- (22) I R実施法で貸金業は禁止されているのか。
- (23) 本市の実施方針には貸金業禁止を盛り込むのか。
- (24) 「カジノ面積を増やすことは法で定まっているからありえない」と副市長は発言していたが、法改正すれば可能と考えるが、なぜ否定されていたのか。
- (25) 将来的に法改正はないのか。

3 高橋 のりみ 委員（自民党）

1 I Rの安全・安心対策の横浜モデルの構築について

- (1) カジノをつくると、ギャンブル依存症の人が発生し、犯罪等の問題が起きるという考えについての見解を伺いたい。
- (2) カジノの運営に反社会的勢力が参入するのではないかという考えについての見解を伺いたい。
- (3) カジノに頼らない経済政策を考えるべきという意見についての見解を伺いたい。
- (要望) I Rは、横浜がさらに発展していくためのチャンスであり、成長・発展のエンジンになるため、将来に誇るべき、横浜ならではのI Rの実現を目指して、今後も着実に事業を推進していただくことを要望する。

2 現市庁舎街区を中心とした関内駅周辺地区のまちづくりへの期待について

- (1) 市庁舎行政棟の保存活用への期待について伺いたい。
- (意見) 現市庁舎が観光資源として活用され、関内・関外地区の歴史まちづくりの展開に繋がることを期待する。
- (2) みなと大通りと横浜文化体育館へのアクセス動線の再整備の進め方について伺いたい。
- (3) 現市庁舎街区と横浜公園を接続する歩行者デッキの整備の進め方について伺いたい。
- (4) 関内駅周辺地区の活性化に向けた決意について伺いたい。

3 郊外部における拠点駅周辺のまちづくりについて

- (1) 新綱島駅周辺地区のまちづくりの状況について伺いたい。
- (2) 綱島駅東口地区のまちづくりの考え方について伺いたい。
- (3) 今後の郊外部のまちづくりの進め方について伺いたい。
- (意見) 郊外部のまちづくりを着実に推進することで、将来の本格的な人口減少社会を見据えた効率的なまちづくりが進められていくことを期待する。

4 旧保土ヶ谷県税事務所の跡地活用事業について

- (1) 事業予定者として選定された提案は、どのような点が高く評価されたのか。
 - (2) 保土ヶ谷駅東口のまちづくりでは、どのようなエリアマネジメントを事業予定者へ期待しているのか。
 - (3) 今後、旧県税事務所の跡地活用を契機として、保土ヶ谷駅周辺のまちづくりをしっかりと進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) この事業を契機に、西口も含めた保土ヶ谷駅周辺全体を魅力的な街として再生できるよう、長期的な視点を持ってしっかりと取り組んでいただきたい。

5 歴史を生かしたまちづくりについて

- (1) 井土ヶ谷の町内会館を歴史的建造物として保全活用することになった経緯について伺いたい。
 - (2) 市民が主体的に行う歴史的建造物の保全活用を、横浜市として積極的に支援していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 歴史的建造物は多くの市民が利用することにより、魅力を更に高め、地域にとって貴重な財産になるので、所有者をはじめ、歴史的建造物の保全活用に取り組む多くの市民の支援を積極的に展開していただくことを期待する。

6 まちの不燃化推進事業における課題について

- (1) 密集市街地における公園・広場整備の課題について伺いたい。
 - (2) 不燃化推進地域の地籍調査の実施状況について伺いたい。
 - (3) 災害からの迅速な復旧・復興のために、不燃化推進地域等の災害による危険性の高い地区において地籍調査を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 地震火災危険性の高い地区が災害発生後、迅速に復旧・復興できるように備えることは、本市の地震火災対策上、大変重要なため、環境創造局と連携を図りながら地籍調査を推進していただくよう要望する。

1 多世代が安心して暮らせる郊外住宅地でのまちづくりについて

(1) 建築協定等が定められている地域における、ルール内容の見直しの状況について伺いたい。

(2) 社会状況の変化やニーズに、柔軟に対応できるまちのルールの今後のあり方について伺いたい。

(要望) 引き続き、市として積極的に地域に入り、地域の将来像を示しながら、まちづくりルールの見直しなど必要な支援に取り組むよう要望する。

(3) ヨコハマ市民まち普請事業の今後の展開について伺いたい。

(要望) 公民連携の仕組みを使った資金調達や担い手の発掘など、新しい試みに対してもしっかりと支援をお願いしたい。

(4) 電動小型低速車を活用した実証実験のこれまでの取組状況と今後の取組の方向性を伺いたい。

(要望) 本格運行に向けて事業採算性などの課題はあるが、新たな交通手段として将来の自動運転化も見据え、継続した取組みを要望する。

2 鉄道ネットワーク整備について

(1) 相鉄・JR直通線の利用状況を伺いたい。

(2) 相鉄線沿線のまちづくりにみられる神奈川東部方面線の効果について伺いたい。

(3) 高速鉄道3号線延伸と沿線まちづくりの進め方について伺いたい。

(要望) 多くの市民から期待されている事業として、沿線のまちづくりとともに、しっかりと進めてほしい。

3 多くの世代に選ばれる郊外部の実現に向けた取組について

(1) 多くの世代に選ばれる郊外部の実現に向け、今のうちから、しっかりとまちづくりを進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

- 4 若い世代にとって魅力ある都心臨海部における賑わいと活力づくりについて
- (1) みなとみらい21地区における、エリアマネジメントによるエンターテインメントの推進について伺いたい。
- (要望) 多様な施設が集積する強みを生かし、いつでもエンターテインメントが楽しめる都市横浜、という新たな都市ブランドを確立するよう要望する。
- (2) 関内・関外地区における、若い世代による賑わいと活力づくりの取組の方向性を伺いたい。
- (3) 初黄・日ノ出町地区での取組の効果と今後の方向性を伺いたい。
- (4) 関内駅周辺地区における、若い世代が楽しみ、活躍できるしかけについて伺いたい。
- (要望) 関内周辺での起業家のスタートアップや、音楽・演劇・アートなどの文化芸術活動に対する支援をしてほしい。そういった取り組みへの家賃補助や、ナイトタイムエコノミーにも通じる発表の場や賑わいの場の創出に対する容積率の緩和なども、より大胆に実施してほしい。
- (5) 横浜駅周辺においてさらなる賑わいづくりを進めるため、若者が活動できる場をどうやって作り出すのか。
- (要望) エキサイトよこはま22の開発や基盤整備においては、若い世代にとって魅力ある賑わいの場となるよう要望する。
- 5 都心臨海部の回遊性の向上について
- (1) 今後も民間事業者と積極的に連携しながら、新たな交通サービスを更に充実させていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 都心臨海部に観光やMICEで訪れた方が、郊外部にも気軽に訪れるようになれば、本市の更なる魅力向上・日帰り観光からの脱却にも繋がるため、都心臨海部だけでなく、郊外部も含めた、市域全体の回遊性向上にも取り組むよう要望する。
- 6 IR（統合型リゾート）の魅力づくりについて
- (1) IRのエンターテインメント施設は具体的にどのようなものか伺いたい。
- (2) 広報動画の内容はどのようなものか伺いたい。

(要望) 広報動画は素晴らしい作品に仕上げてください、様々な場面で活用し、市民の理解が深まるよう要望する。

(3) 横浜市が I R で得る収入の使途について伺いたい。

(要望) 総合的な依存症対策・子育て支援策・教育政策など、横浜市民の未来への投資となる目的に増収分を使うなど、市民へのメリットを具体的に表明して欲しい。

(4) 事業の推進における市民・市会の意見の反映について伺いたい。

(要望) 横浜の I R は、クローズドな施設にせず、横浜の文化芸術やエンターテイメント、ナイトタイムエコノミー政策の中にしっかりと取り込み、都市全体の魅力をさらに高めるよう要望する。

7 都心臨海部におけるオール横浜での取組について

(1) 多くの来街者を呼び込む観光やエンターテイメントの取組を進めるうえではオール横浜での取組が重要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 観光立国を目指す国の方針なども踏まえ、時代を先取りした新たな発想も取り入れながら、施策の推進に取り組んでいただくことを要望する。

8 旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりについて

(1) 方針の一つに、交流や賑わいを位置付けた理由を伺いたい。

(2) テーマパークを核とする土地利用を位置付けた経緯について伺いたい。

(3) まちづくりに先駆けて当地区への注目度を高める、野外フェスのようなプレイイベントが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 上瀬谷の242ha という広大な土地を活かして、世界中が注目し、人が集まる賑わい拠点づくりを、強力に推進していくよう要望する。

9 交流人口を増やす都市づくりについて

(1) 交流人口を増やしていく都市づくりを戦略的に進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 I Rについて

- (1) 4億円と試算した予算構成と金額の詳細について伺いたい。
- (2) 懸念事項対策研究会の構成メンバーと選出基準、シンポジウムの内容について伺いたい。
(要望) 研究・審議するメンバーの考えが偏りのないよう構成していただきたい。
- (3) 増収効果等について不確定な数字を掲げた広報をまた配布する予定なのか。
- (4) 令和2年度の市民説明会の内容と手法について伺いたい。
- (5) ギャンブル等依存症や治安対策に関する負のコストを積算すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) カジノの影響による生活困窮や治安の悪化が広がった時の、横浜市における責任はどのように考えているのか。
- (7) 事業者をどのような基準で選定するのか。
(要望) カジノだけに頼る横浜市とならないよう、広域的に意見を聞き慎重に議論してほしい。しっかりと公平性・透明性を確保し、それを市民や市会にも明らかにしながら、事業を進めていくことを要望する。

2 エキサイトよこはま22について

- (1) JR横浜タワーは、どのような公共的役割を担っているのか。
- (2) 西口駅前広場が、オリンピック・パラリンピックまでに完成出来ない理由について伺いたい。
- (3) 大会開催期間中の中央西口駅前広場はどのような状況なのか。
- (4) 今回の整備を含め横浜駅におけるバリアフリー化の取組について伺いたい。
- (5) 駅前広場をはじめ横浜駅周辺には安心してゆっくりできる空間が必要と考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 素敵な空間を作ってください、オリンピック・パラリンピックの関連イベントなども含め、横浜駅周辺が賑わいあふれる空間づくりとなるよう取り組んでいただきたい。

3 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた広告物活用地区の指定について

- (1) 今回の広告物活用地区の概要について伺いたい。
 - (2) ラグビーワールドカップ2019における広告物活用地区指定の効果について伺いたい。
 - (3) オリンピック・パラリンピックへ向け、広告物活用地区制度によって掲出される広告物への期待について伺いたい。
- (要望) 広告物活用地区制度を十分に活かし、オリンピック・パラリンピックを盛り上げるとともに、横浜のまちを世界にPRしていただきたい。また今後もイベント等にあわせて街の賑わいを演出すべく、効果的に制度を活用してほしい。

4 みなとみらい21地区まちづくりトラストの推進について

- (1) 現在の開発状況について伺いたい。
- (2) まちづくりトラストの概要及び実績について伺いたい。
- (3) 今後のトラストの活用の方向性について伺いたい。

5 大船駅北第二地区市街地再開発事業について

- (1) 再開発事業の計画内容について伺いたい。
 - (2) 再開発事業の現在の進捗状況について伺いたい。
 - (3) 笠間口付近の歩行者動線とバスターミナル工事での取組について伺いたい。
 - (4) 再開発ビルの完成に向けた意気込みを伺いたい。
- (要望) 当地区が重要な賑わい拠点となるよう、再開発ビル完成後のまちづくりについても、地元の方々と協力する事を要望する。

6 本郷台駅周辺のまちづくりについて

- (1) 旧国有地が開発に至るまでの主な経緯について伺いたい。
- (2) 旧国有地における開発の進捗状況について伺いたい。
- (3) 本郷台駅周辺について今後どのようにまちづくりを進めていくのか。

7 上郷ネオポリス地区のまちづくりについて

- (1) 協定締結の経緯について伺いたい。
- (2) 上郷ネオポリス地区のまちづくりにおける市の役割について伺いたい。
- (3) 今回の協定締結を踏まえた郊外住宅地のまちづくりの進め方について伺いたい。

8 旧上瀬谷通信施設地区の事業化について

- (1) 指針策定から時間が経過した中で、どのような視点で検討してきたのか。
 - (2) 地権者とどのような検討を行ってきたのか。
 - (3) 周辺の地域の意見をどのように踏まえたのか。
 - (4) 市民意見募集の状況と対応の方向性について伺いたい。
 - (5) 引き続き市民の意見を踏まえてまちづくりを進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 引き続き、郊外部の活性化はもとより、本市全体の成長に繋がるようなまちづくりを推進していただくことを要望する。